



写真協力 斉藤米一さん(第3回宇治市観光客写真コンクール入賞作品「たこあげ大会」)

発展し行動する年に

市議会議長 北村庄嗣



市民の皆様、明けましておめでとうございます。昭和六十二年の輝かしい新春を迎え、市議会を代表し、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年、本市におきましては、広野公民館の開館、公共下水道の一部供用開始など都市基盤整備が進む中、ヌワラエリや市、咸陽市との友好都市提携が結ばれ、文化国際都市として大きく前進いたしました。これもひとえに、市民の皆様のご協力とご支援のたまものと、心から感謝を申し上げます。

本年は更に黄檗公園体育館、地域市民センターの建設、また、商工・伝統産業の振興を目指した産業会館が完成するなど、市勢発展のための施設整備の充実が図られようとしています。しかし、今日の財政状況は、国・地方を問わず大変厳しいものがあります。私たちはこの期にありまして、市民の皆様と共に、議決機関として創意工夫を重ね、市民生活向上の為に全力を傾注して参る所存です。今後とも、市民の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げますと共に、ご健康とご多幸を祈念し、新年のごあいさつといたします。

市民の皆様、明けましておめでとうございます。昭和六十二年の輝かしい新春を迎え、市議会を代表し、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年、本市におきましては、広野公民館の開館、公共下水道の一部供用開始など都市基盤整備が進む中、ヌワラエリや市、咸陽市との友好都市提携が結ばれ、文化国際都市として大きく前進いたしました。これもひとえに、市民の皆様のご協力とご支援のたまものと、心から感謝を申し上げます。

本年は更に黄檗公園体育館、地域市民センターの建設、また、商工・伝統産業の振興を目指した産業会館が完成するなど、市勢発展のための施設整備の充実が図られようとしています。しかし、今日の財政状況は、国・地方を問わず大変厳しいものがあります。私たちはこの期にありまして、市民の皆様と共に、議決機関として創意工夫を重ね、市民生活向上の為に全力を傾注して参る所存です。今後とも、市民の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げますと共に、ご健康とご多幸を祈念し、新年のごあいさつといたします。

市長 池本正夫



明けましておめでとうございます。市民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

さて、昨年の全国的な円高不況や国の財政悪化は、本市でも厳しい行財政運営を余儀なくされて参りましたが、効率的行政をめざし、行財政改革を積極的に推進する中で、広野地区公民館の開館、公共下水道の一部通水開始など、活力ある街づくりを推進出来たことは、喜びにたえません。また、ヌワラエリや市や咸陽市との友好都市提携は、国際都市に飛躍する基礎づくりになるものと存じます。さて、いよいよ京都国体も来年に迫って参りました。市民の皆様と共に、その成功に向けて、あらゆる条件整備や気運の盛り上げに全力をあげて参りたいと考えております。また、引き続き、公共下水道や道路建設などの都市基盤整備をはじめ、産業会館の建設、黄檗公園体育館やぐら地域市民センターの着工などを計画的に進めて参る所存です。

今後共、市民の皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ

市民のスポーツ



▲63年京都国体を啓蒙する看板



▶綱引きは63年京都国体でデモンストレーション競技として採用されることになっています。

府下で唯一の飛び込み教室

府立山城総合運動公園（太陽が丘）では、昨年六月に京都で初の飛び込みプールが完成し、

七月には「少年少女飛び込み教室」が開かれました。飛び込みプールは、広さが縦

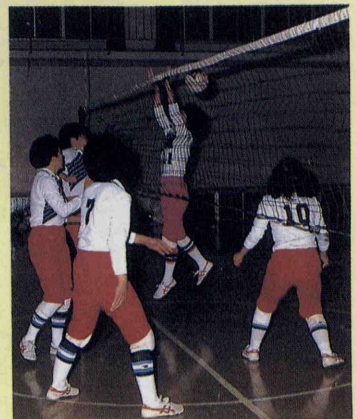
本市では、市民総合体育大会、スポーツ教室、スポーツひろば、スポーツ少年団活動、家庭婦人対象のママさんバレーや、高齢者対象のゲートボール、全市民あげて楽しむスポーツまつりの催し、その外各種競技大会の開催などの積極的な取り組みを行い、その参加者は年々増加して来ています。スポーツは、強健な心身の発達を促し、人間性を豊かにすると共に、健康で文化的な生活を営むうえで極めて重要な役割を果たすものです。スポーツ都市宇治市の実現を目指して、市民の皆さんが「一丸となって取り組みを進めましょう。新春にあたり、スポーツ活動で活躍されている皆さんに、スポットを当ててみました。

目標に向けて 積み重ね

家庭婦人バレーボール

蔵クラブ

蔵クラブは、木幡中学校区に住む家庭婦人で構成するママさんバレーボールチームで、今年十年目を迎えます。昨年は、宇治市家庭婦人バレーボール大会で、念願の初優勝を手に入れました。チーム結成時から代表で、主将を務める蔵木君子さんは、「普通の主婦の、一つの目標に向けた積み重ねが、今日のチームをつくり上げた。今が最高のチーム」と声を弾ませます。二十七歳から四十三歳までのママさんたち十三人が、毎週火曜日と金曜日の午後七時半から



二時間、御蔵山小学校と木幡中学校の体育館を交互に借りて、練習を行っています。試合も日曜日が多いので、家族の協力が無ければ出来ません」とクラブ員。三月の京都府民トリムのつどいを控えて、練習にも一段と熱が入ります。

躍



また毎年、駅伝のシーズンになると、バレーボール部など外



親と子のふれあい

巨椋サッカー スポーツ少年団

巨椋サッカー
スポーツ少年団
は、昭和五十二
年十月に結成さ
れ、今年で十周
年を迎えます。
現在、北小倉小
学校の児童を中

心の、小倉・南小倉・西小倉小
学校の児童、北宇治中学校の生
徒など百五十人の団員が集まっ
ています。
指導には、代表の和田義孝さ
んを始め六人のコーチが当たり、
土曜日・日曜日・祝日に各二時
間の練習と、夏休みには網野で
二泊三日の合宿などを行って
います。
団の目標は、公式試合や交流
試合を通じて、サッカーや学校
の勉強以外でも学ぶことの広さ、
スポーツの楽しさを体で知るこ
と、親子大会などで親と子のふ
れあいを大切にしています。
また、西小倉地区の様々な協
力があり、地区全体の交流にも
一役買っています。

宇治市 スポーツ少年団

スポーツ少年団は、スポーツや野外活動を通
じて、青少年の健全な育成を図り、よき社会人
となることを目的にして、市内各地域において
活動を展開しています。現在、本部に登録する
スポーツクラブは四十九団を数え、クラブ員
総数は二千六百人になります。

はばたけ



いたものです。
この教室に参加した馬竹美穂
さん（神明小六年）は、「お母さ
んから勧められ参加した。始め
は怖かったけれど、次第に慣れ
て行った。最初は一メートルの
高さから始め、最後は七・五メ
ートルの高さまで飛び込みが出
来るようになった。指導の先生
も、厳しいけれど優しく、今年
もぜひ行きたい」と語ってくれ
ました。
来年度の京都国体夏季大会では、
飛び込み種目が行われることに
なっています。

思いやりと友情の輪 リトル・サーバルズ少女ソフト スポーツ少年団



リトル・サーバルズ少女ソフト
スポーツ少年団は、昭和五十
二年に結成。四年前に、ソフト
ボールの種目としては初めてス
ポーツ少年団に加入しました。
現在、南部小学校、菟道小学
校などの二年生から六年生まで
の児童二十八人が、土曜日・日
曜日の練習に汗を流しています。
また、クリーン運動への参加
や、親子試合・合宿・レクリエ
ーション・スケートなどの行事
も盛りだくさんです。
「試合の勝ち負けよりも、縦
割り集団の中で、思いやりとか
友情を育てて欲しい。今年から
は少年チームの育成も」と、チ
ームを引っ張って十年目の奥野
賢二さん。
部員たちは、「試合に勝った時
はうれいし、負けたら悔しい。
これからも頑張りたい」と意欲
的。
昨年の高校総体で優勝した宇
治高校ソフトボール部にも、二
人の出身者がレギュラーで活躍
するなど、若い芽はたくましく
育っています。

目覚ましい活

榎島中学校 陸上部

宇治市立榎島中学校（永谷頼
庸校長）の陸上部は、昭和五十
七年四月の開校と同時に創部。
最初二、三人だった部員も、
今では男子二十五人、女子十人、
合計三十五人の大所帯に増え、
毎日の練習に励んでいます。

の部員も交え、駅伝部を結成し
大会に備えます。
兄のような陸上部顧問の南亮
司教諭の、ユーモアの内にも熱
心なコーチで、チームワークも
生まれて行きます。
昨年は、開校五年目にして、
天橋立コースで行われた、京都
府中学駅伝競走大会で、女子の
部が優勝、男子の部も準優勝に
輝きました。同大会には、外に
北宇治中学校の女子チーム、広
野中学校の男子、女子の両チ
ームが出場するなど、本市の中
生は陸上競技力の向上には、目
覚ましいものがあります。

道路 交通 施設

進む都市基盤整備



▲京滋バイパス建設工事
新しい動脈道路として建設が進む(横島町郡付近)。

市内初めての自動車専用道路、京滋バイパス、建設工事は、六十二年京都国体開催までの完成を目指し、着々と進行。その進捗率は、五七%となっている。

今春は、宇治・ソネル二尾・荒瀬が貫通予定で、宇治・横島町・横島町架設工事とも、開始されるなど、新しい動脈道路の完成は間近に迫っている。

更に、大久保地域では、昭和五十九年九月の着工以来順調に進む近鉄大久保駅付近鉄道高架事業が行われている。六十一年度末までの進捗率は総事業の七六%。本年十月ごろには、本線の切り替えも終了し、近鉄大久保駅の営業が開始される予定。

また、都市計画道路大久保停車場線、東西側道等、関連施設の整備も、京都国体開催までに完成することになっている。

この近鉄線高架事業を契機に、周辺地区の再開発に向けての大久保駅周辺地区整備計画案が示されるが、本市の南の玄関口、南山城の商工・交通の中心地になれり地城整備が図られようとしている。

本市では、二十一世紀を展望したまちづくりのため、第一次に続く第二次総合計画の中の「みどり豊かな住みたい、住んでよかった都市」づくりをテーマに、都市基盤の整備を進めています。特に本年は、一年後に迫った京都国体の成功を期し、道路や競技施設など諸条件の整備に、一層の推進を図ることとなります。現在、本市がどのように変容しつつあるのかを、写真を中心にご紹介しましょう。

進む国体関連施設整備

夏大会まで六百十三日、秋大会まで六百十三日に迫った京都国体。府立山城総合運動公園では、夏大会のメイン会場として五十・二十五の競泳プールを始め、府内で唯一の飛び込みプールが、既に完成。

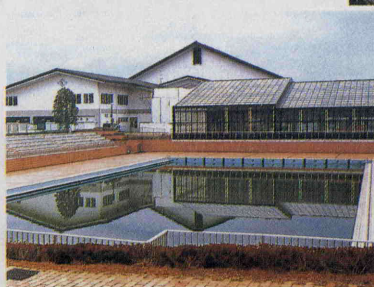
また、秋季大会サッカー・ソフトボール競技施設も、太陽が丘競技場を始め、本年三月には西宇治運動公園芝生広場の整備が整うなど、着々と進行しています。

更に、市民スポーツの中核施設として、黄檗公園体育館も京都国体開催まで目標に、昨年末から建設工事が始まっています。

今後、諸団体の整備が、市民総参加の下に、一年後の京都国体成功に向け一層の取り組みを図ることとなります。



▲太陽が丘飛び込みプール
「片持ち梁(はり)式」飛び込み台。府下で唯一の飛び込みプール。

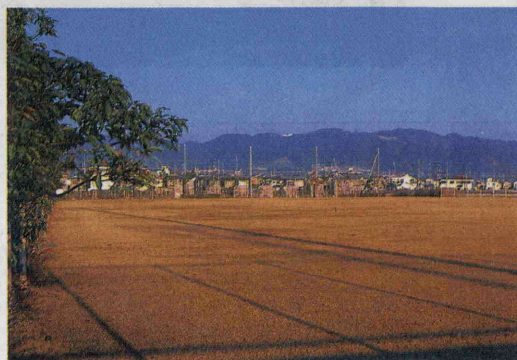
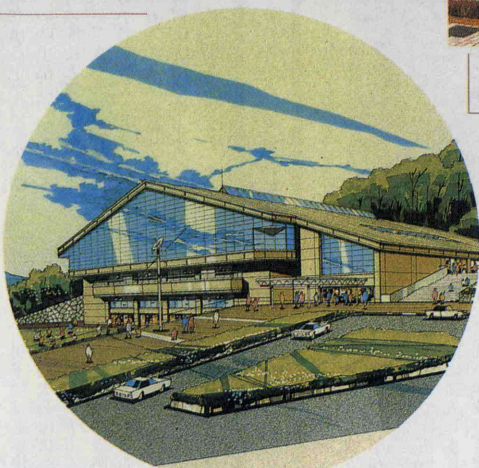


▲太陽が丘競泳プール
夏季大会ではメイン会場に。

▶宇治淀線立体交差事業
秋の開業を目指し急ピッチで進む近鉄大久保駅付近高架工事。



▶黄檗公園体育館完成予想図
京都国体開催までに完成を目指し、昨年末から一部工事に。



▲西宇治運動公園芝生広場
本年秋にはサッカーのリハーサル大会を開催。